

ES細胞が照らす難病治療の新しい道
—社会とリンクする再生医療への取り組み—

Symposium of Human Embryonic Stem Cells (ESC) Therapy

ヒトES細胞シンポジウム

2016.3.30 Wed 13:30~16:30
(13:00 開場)

参加費
無料

日本橋三井ホール(東京都中央区日本橋室町)

新世代多能性幹細胞としてのヒトES細胞をご紹介します。

プログラム

■13:30~14:40

第1部 ES細胞による再生医療の現状

「ヒトES細胞による再生医療研究の世界的潮流」

座長: 阿久津 英憲 (国立成育医療研究センター研究所)

演者: 末盛 博文 (京都大学再生医科学研究所)

演者: Dr. Xianmin Zeng (Associate Professor, Buck Institute for Research on Aging) (米国)

※同時通訳を介してお聞きいただけます。

■休憩 14:40~15:00

[シンポジウムURL]

<http://www.procomu.jp/esct2016/>

事前参加申込期間 2016年2月29日(月)~



■15:00~16:30

第2部 ES細胞について社会に向けた情報発信と対話

座長: 山本 圭一郎 (国立国際医療研究センター)

座長: 佐藤 恵子 (京都大学医学部附属病院)

「ES細胞ってなに?」

演者: 佐藤 恵子 (京都大学医学部附属病院)

「ES細胞の臨床利用に期待すること」


演者: 小林 信秋 (難病のこども支援全国ネットワーク)

「米国における患者と再生医療研究との関わり方」

演者: Kevin McCormack (Sr. Director, Public Communications & Patient Advocate Outreach, CIRM) (米国)

演者: Adrienne Bell-Cors (patient advocate for Sickle Cell Anemia) (米国)

※同時通訳を介してお聞きいただけます。

 江戸時代に薬問屋で賑わった日本橋の
近代的ホールにて開催します。



日本橋 雪之曙

主催

再生医療実用化研究事業
「臨床利用のための新規ES細胞の樹立と
ストック作製に関する研究」班
(国立成育医療研究センター/京都大学)



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development



後援

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構

